

あなたの阿蘇を

世界のASOに

阿蘇世界文化遺産登録応援BOOK



みんなの応援
待ってるモン!

阿蘇在住
高校2年生 芽衣



ベテラン農家
山部さん

こんにちは
今日の特別講師をする
山部です

阿蘇は世界的にも
すごい地域で

世界文化遺産登録
への動きも進んでいます

あ、よろしく
お願いします!



草介くん

芽衣のクラスメイト
草介

俺たちにとっては
当たり前前の光景だけど
そんなにスゴいんですか?

へー
そうなんです

うーん
草原気持ちいい!!

今日の校外授業
楽しみにしてたんだー!

世界遺産とは

世界遺産は、人類全体にとって、未来に引き継いでいくべき価値があると認められた「人類共通の資産」であると、国家間の条約で定められています。人類全体のかげがえのない資産を、世界が協力して保護することを目的としています。



世界遺産の種類と登録件数 (2021年2月現在)

●文化遺産 …… 869 件

人類が生み出した歴史的、芸術的、学術的に重要な記念物、建物、遺跡など。

(自由の女神像《アメリカ》、タージ・マハル《インド》、富士山—信仰の対象と芸術の源泉《日本》など)

●自然遺産 …… 213 件

自然に形成された特徴的な地形や美しい風景、貴重な生物の生息地など。

(グレート・バリア・リーフ《オーストラリア》、ガラパゴス諸島《エクアドル》など)

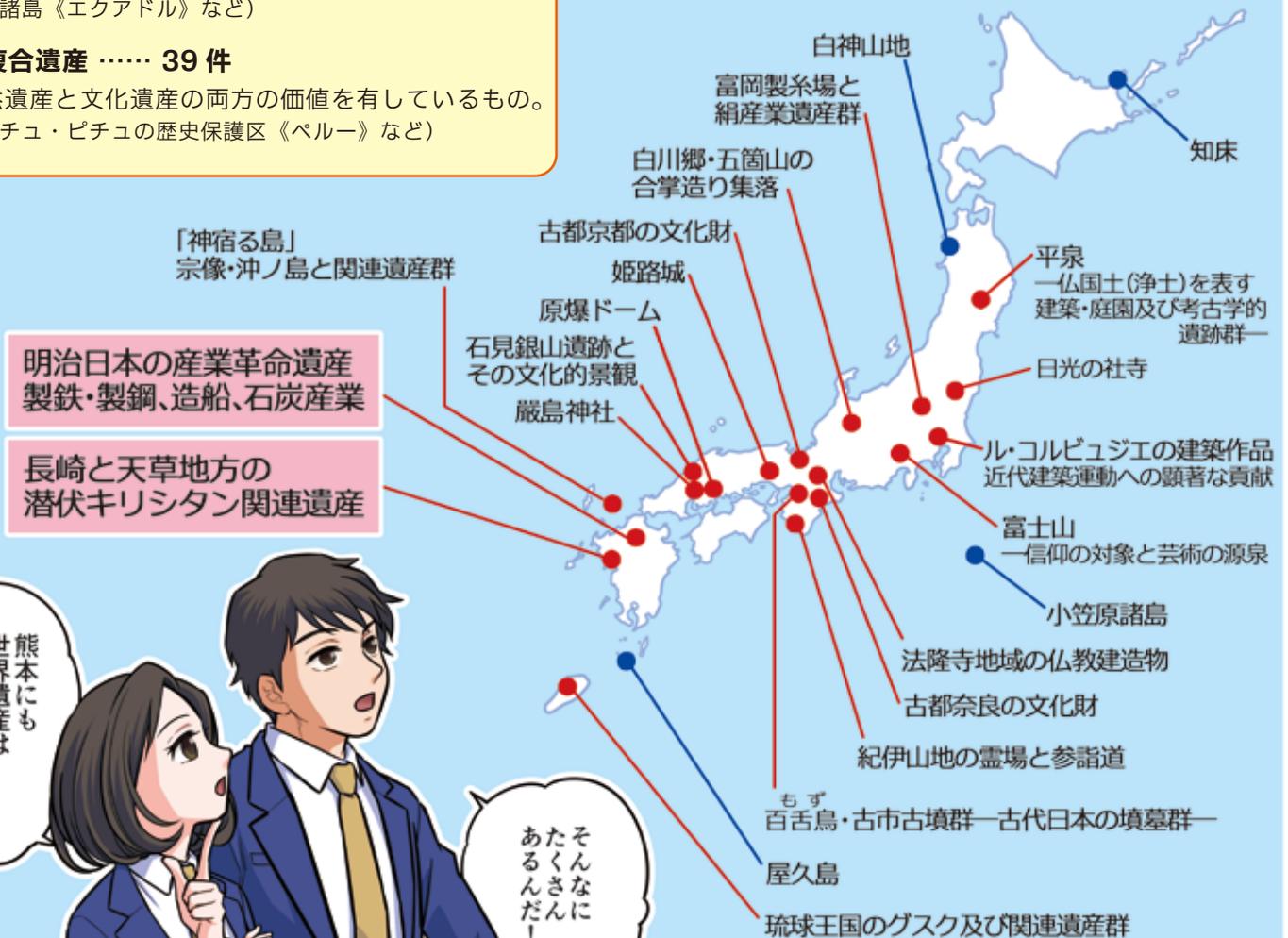
●複合遺産 …… 39 件

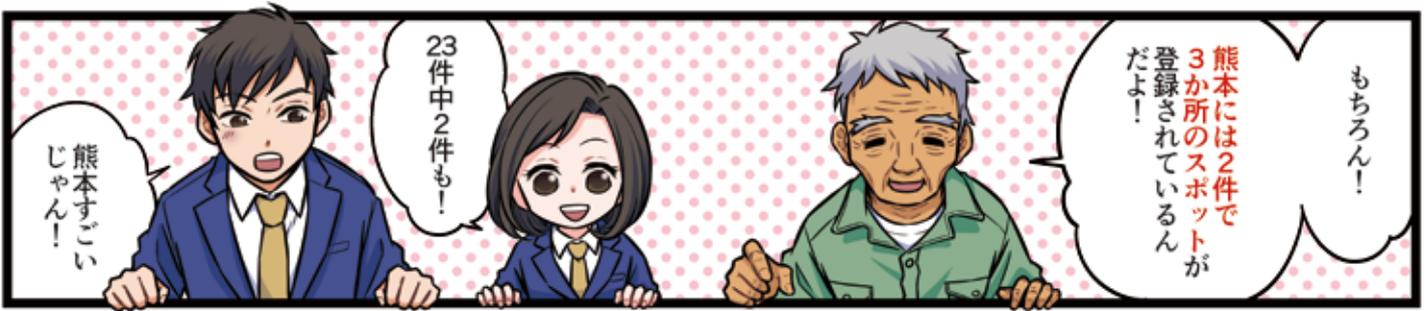
自然遺産と文化遺産の両方の価値を有しているもの。(マチュ・ピチュの歴史保護区《ペルー》など)



日本の世界遺産

●文化遺産 19件 ●自然遺産 4件





明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業

● 県内の構成資産

三池炭鉱・三池港の万田坑、専用鉄道敷跡（荒尾市）、三角西港（宇城市）

● 世界遺産としての価値

ヨーロッパに端を発した産業革命が、西洋から非西洋へ伝播し、初めて成功したことを示す遺跡群です。日本が幕末から明治にかけ、製鉄、造船、石炭産業を基盤に、急速な産業化を成し遂げた過程を示しています。

そのうち、万田坑（採炭施設）、専用鉄道敷跡（石炭や資材の運搬）、三角西港（三池炭の主要輸出港）は日本の石炭産業の振興に重要な役割を果たしました。



令和元年度 くまもとの資産フォトコンテスト最優秀賞作品



令和元年度 くまもとの資産フォトコンテスト最優秀賞作品

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産



令和元年度 くまもとの資産フォトコンテスト最優秀賞作品

● 県内の構成資産

天草の崎津集落（天草市）

● 世界遺産としての価値

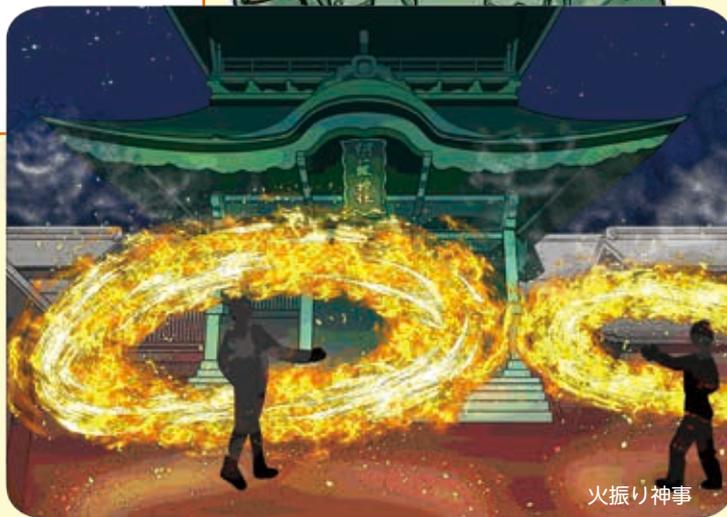
250年近く続いたキリスト教の禁教政策のなか、潜伏キリシタンが既存の社会・宗教と共存しつつ、密かに信仰を継承し、育んできた独特の文化や伝統を物語っています。

そのうち天草の崎津集落は、禁教期の潜伏キリシタンが、漁村特有の生活や生業に根差した身近なもの（貝殻など）を信心具として代用することによって信仰を実践した集落です。



活火山に対する畏敬の念と、 農耕祭事の伝承

●国の重要無形民俗文化財に指定された農耕祭事も噴火活動が続く火山で暮らすために、人々は火山信仰をはじめとする精神的な営み(祭りなど)を生み出しました。阿蘇神社の「火振り神事」や「御田植神幸式」など、現在もその信仰を示すものが伝承されています。それらは噴火による火山灰の降灰などの農耕被害を鎮め豊作を願う、古くからの人々の営みの様子がよく表されており、国の重要無形民俗文化財に指定されています。



火振り神事

世界最大級かつ 形状の明瞭なカルデラ

●世界最大級のカルデラ！

「カルデラ」とは火山活動によってできる大きな凹地のことです。約27万年前から約9万年前の間に繰り返された大規模な火山の噴火後の陥没により、「阿蘇カルデラ」は誕生しました。東西約18km、南北約25kmと世界でも有数の規模を誇ります。

●カルデラがはっきりと分かりやすい！

外輪山の縁とカルデラ底の標高差は約300～700mあり、凹地であることをはっきりと見ることができます。

●噴火活動が続く火山がある！

カルデラの中央には現在も噴火活動が続いている「中岳」があります。



外輪山
見峰

中通古墳群

阿蘇谷

阿蘇神社

中岳

高岳 根子岳

阿蘇カルデラの規模

熊本城※が387個入る大きさ

※旧城域の面積0.98km²

多様な植物

阿蘇に存在する被子植物は約1,600種
日本に存在する被子植物種の1/5！



ハナシノブ

火山と共に生きるための人の関わり

活火山という過酷な自然条件にある阿蘇ですが、人々は長い年月をかけて共に生きる方法を見つけました。地形や自然をうまく利用して暮らしてきた人々の知恵が、阿蘇の壮大で美しい景観につながっています。

●千年におよぶ草原とその維持システム

自然のままに任せると、阿蘇の草地はやがて森林へと移り変わります。「野焼き—放牧—採草」の一連の流れにそった、今に続く人々の営みは千年以上の歴史を持ち、半自然草地の安定的な継続に大きく貢献しています。

●草原を守る「野焼き」

「野焼き」は2月後半から4月にかけて、阿蘇の各地で行われます。草原に火を入れることは、害虫や前年の枯れ草・低木類を除去し、初夏にはススキなどを再び繁殖させる、効果的な草原の管理方法です。社会的変化により草の需要が減少した現在でも、地域コミュニティを中心に、地域外からのボランティアの協力も得ながら、野焼き及び輪地切り（防火帯作り）が毎年行われています。



●農業における土地利用

阿蘇はもともと高冷地、湿地である上に、生産性が低い火山灰土壌のため農業に適した土地はありませんでした。そのような悪条件を克服するために、かつて人々は、堆肥や高地の草地で生産した草を用いた草肥を低地の田畑へ投入し、長い年月をかけて土壌を改良してきました。さらに豊富な湧水・伏流水を活用して用水路等の農業水利施設を造り、農業生産性の向上や経営規模の拡大を図りました。これらの人々の営みによって、「草地（高地）—森林—集落—耕作地（低地）」がひとつの土地利用の単位となり、「阿蘇カルデラ」の壮大な景観が作られてきました。

広大な草原面積

草原の面積は22,000ヘクタール
南阿蘇村と西原村を足した面積より大きい！

放牧されている牛

あか牛・黒牛あわせて約7,400頭！
阿蘇市人口の約1/3！



世界遺産になるためには

- ・多様な価値観を持つ世界中の誰が見ても、極めて優れていると思うような価値を持つこと。
 - ・その価値が世界遺産委員会の定める基準に合っていること。
 - ・将来にわたって守っていく仕組み(法律など)が整っていること。
- など、いくつかの条件があり、審査機関による厳しい審査を受けなければなりません。

世界遺産登録までの流れ

1 国がつくる「世界遺産に推薦したい候補リスト」(暫定一覧表)に記載される

世界遺産候補として認められることになります。

☆現在、阿蘇はこのリストへの記載を目指しています！

2 国がユネスコ世界遺産委員会へ推薦書を提出

リストの中から、原則1年につき各国1件以内を推薦します。

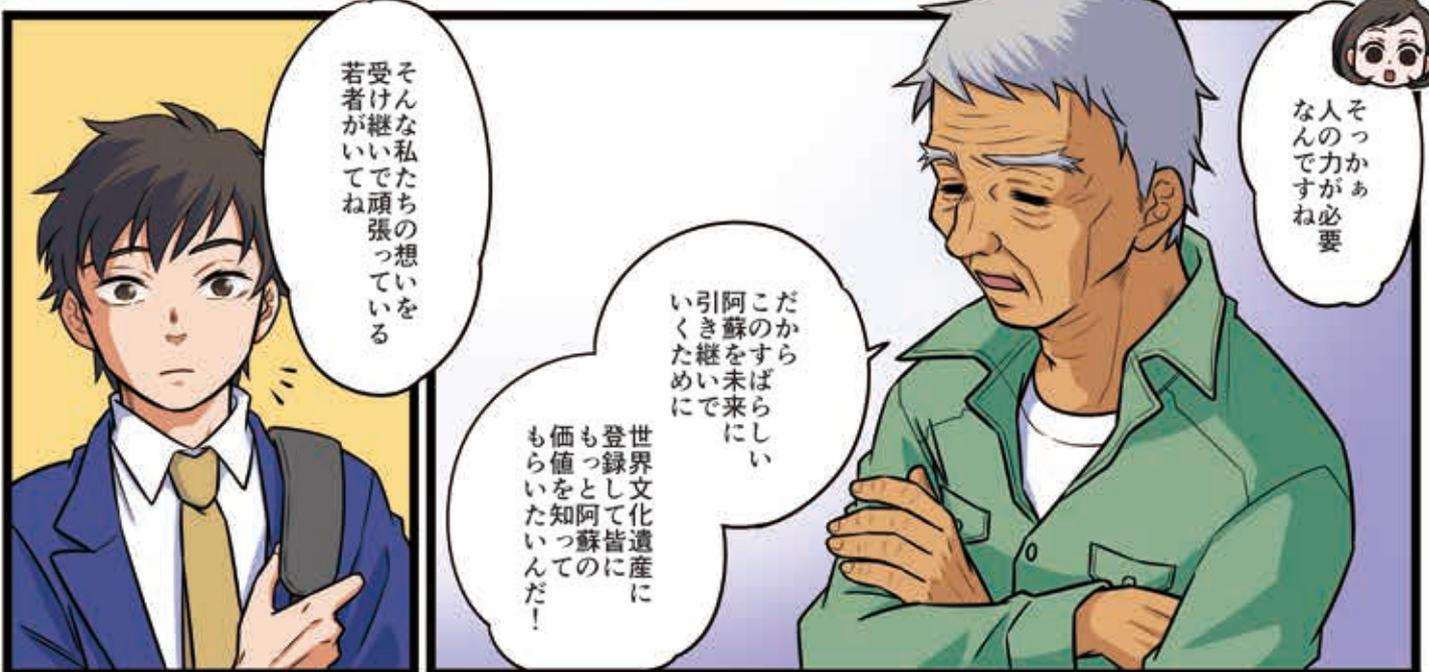
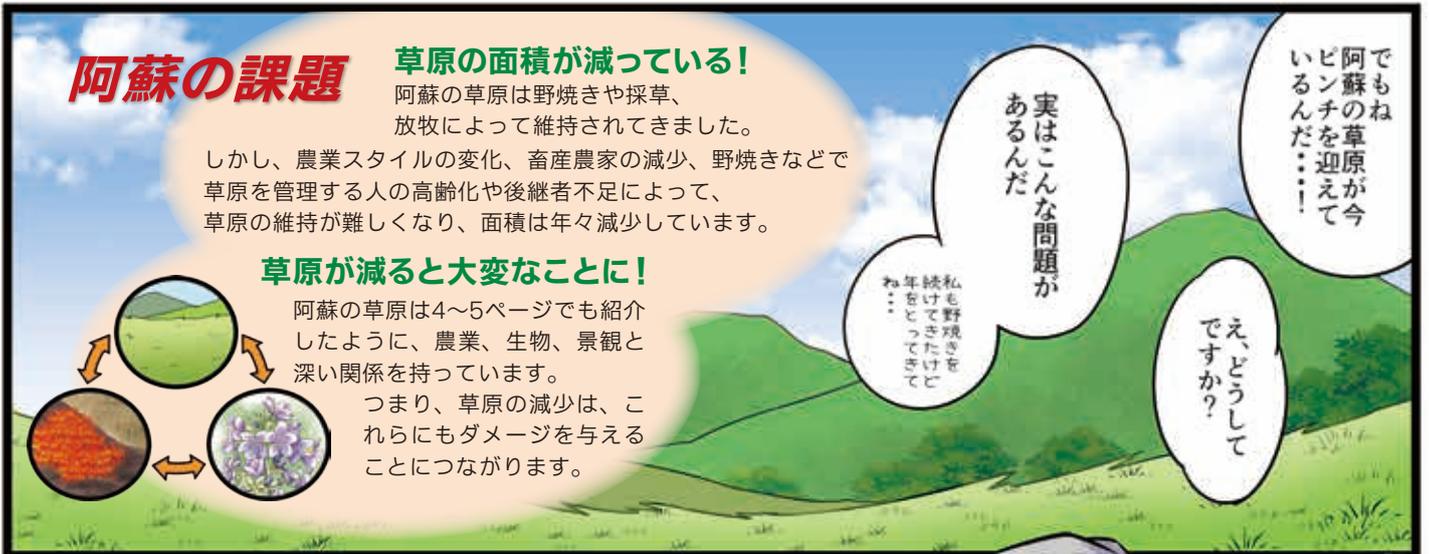
3 審査機関による現地調査

文化遺産は国際記念物遺跡会議(ICOMOS)が、自然遺産は国際自然保護連合(IUCN)が調査します。

4 ユネスコ世界遺産委員会における審議

認められたら…

5 世界遺産に登録！



頑張る

阿蘇在住の先輩にインタビュー

Q. どうして阿蘇で畜産農家になろうと思ったんですか？

A. 牛が放牧されている阿蘇の景観が好きで、この地で畜産農家になることを決意しました。

Q. どんな仕事をしているんですか？

A. ここ阿蘇で、あか牛を一年中放牧しながら育てています。子牛が無事に生まれて、その子牛が成長していく姿を見るのがやりがいです。それに、雲海が出たり雪が積もったり、ここからの景色が毎日変わるのも面白いんです。

高校生へのメッセージ

あか牛を育てながら、阿蘇の素晴らしい景観の基になっている牧野(牛を放牧している草原)をもっと良くしていきたいです。「あか牛を飼いながら草原を守る」って、なんだかカッコいいと思いませんか？(笑) 高校生の皆さんも若いうちに、いろんな人に会ったり、いろんな場所に行って見聞を広めてみてください。放牧されている牛もぜひ見てほしいです！私のところにも気軽に遊びに来てね。



前田裕介さん

九州東海大学で放牧畜産を学び、その後、南小国町で、あか牛の繁殖・肥育を手がけている。佐賀県出身の25歳。



平田靖明さん

野焼き支援ボランティアに参加している高森町出身・在住の27歳。南阿蘇ビジターセンター勤務。

Q. どうして野焼き支援ボランティアに参加しようと思ったのですか？

A. 小さい頃から生き物が好きで、これからもずっとこの自然を守っていきたくて、草原を守る「野焼き」に参加してみようと思ったんです。

Q. 野焼きって、難しそうですが……

A. 私が参加している「阿蘇グリーンストック」の野焼き支援ボランティアは、研修もあるから初めてでも大丈夫です！間近で見る野焼きは大迫力で、阿蘇の伝統風習を自分が担うことにもきっと感動すると思います。

Q. 私たち高校生も参加できますか？

A. 「阿蘇グリーンストック」の野焼き支援ボランティアは、高校生以上であれば参加できるので、興味がある人はぜひホームページを見てみてください！



(公財)阿蘇グリーンストック提供



高校生へのメッセージ

阿蘇には、阿蘇の草原にしか生育しない植物や、希少な動植物がいて、これは本当に素晴らしいことなんです。私が草原に興味を持ったのは、大学生になって、自分の住んでいる町以外の阿蘇の色々な場所に行くようになってから。だから高校生のみんなも、阿蘇のいろんなところに出かけて、阿蘇の魅力に触れてみてね！



阿蘇グリーンストックHP

私たちができる 取り組み

- 阿蘇について学び、学んだ内容を家族や友人に伝えよう!
- 阿蘇の農産品を食べて、農業を応援しよう!
- 野焼き支援ボランティアに参加してみよう!
- 将来、阿蘇に住んで、農業に携わろう!

ありがとうございます!
もちろんあるよ!
こんな取り組みを
してくれたら
うれしいな

いろいろな人たちが
いるんで守られて
いるんだね

阿蘇の自然や
風景について
当たり前に
思っている
けど

私にも
できることは
ありますか?

わかった!
私たちから
取り組むこと
ができるよ!

阿蘇の世界文化遺産登録
の詳しい情報は
こちらをチェック!
詳しくはこちら
の情報を
チェック!

目指せ
世界のASO!

阿蘇 世界遺産

阿蘇の草原をみんなで守ろう!

公益財団法人阿蘇グリーンストックでは、野焼き支援ボランティアなどの草原保護活動に取り組んでいます。未来へ美しい草原を引き継ぐために、ボランティア等による支援や新たな草原の活用等、維持管理しやすい方法をみんなで協力しながら進めていく必要があります。

野焼き支援ボランティアに関するお問合せ先

(公財)阿蘇グリーンストック TEL 0967-32-3500



©2010 熊本県くまモン

阿蘇世界文化遺産登録推進協議会

熊本県 阿蘇市 南小国町 小国町 産山村 高森町 南阿蘇村 西原村
(事務局：熊本県文化企画・世界遺産推進課) TEL 096-333-2153
発行：2020年度